
「腎細胞癌における腎機能温存療法の治療成績に関する後方視的観察研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2012年1月1日より2024年7月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センター泌尿器科を受診し、腎細胞癌の診断で経皮的凍結療法もしくは腎部分切除術を行なわれた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

当院では、2022年3月より腎細胞癌の治療法として経皮的凍結療法を導入しております。凍結療法の治療効果や安全性について、手術療法と比較することで今後のよりよい腎細胞癌治療に役立てることが目的です。

3. 研究期間

病院長の許可後～ 2026年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年12月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

検査データおよび診療記録等を使用します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター泌尿器科において、研究実施者である永本 将一が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 泌尿器科 矢野 晶大（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 泌尿器科 永本 将一

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3673（土日祝日を除く 9：00～17：00）

○研究課題名：腎細胞癌における腎機能温存療法の治療成績に関する後方視的観察研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 泌尿器科 教授 矢野 晶大